

第30回企画展

駅開業・鉄道交流ステーション開設10周年記念

「東北福祉大前駅」展

<http://www.tfu.ac.jp/rmlc/index.html>

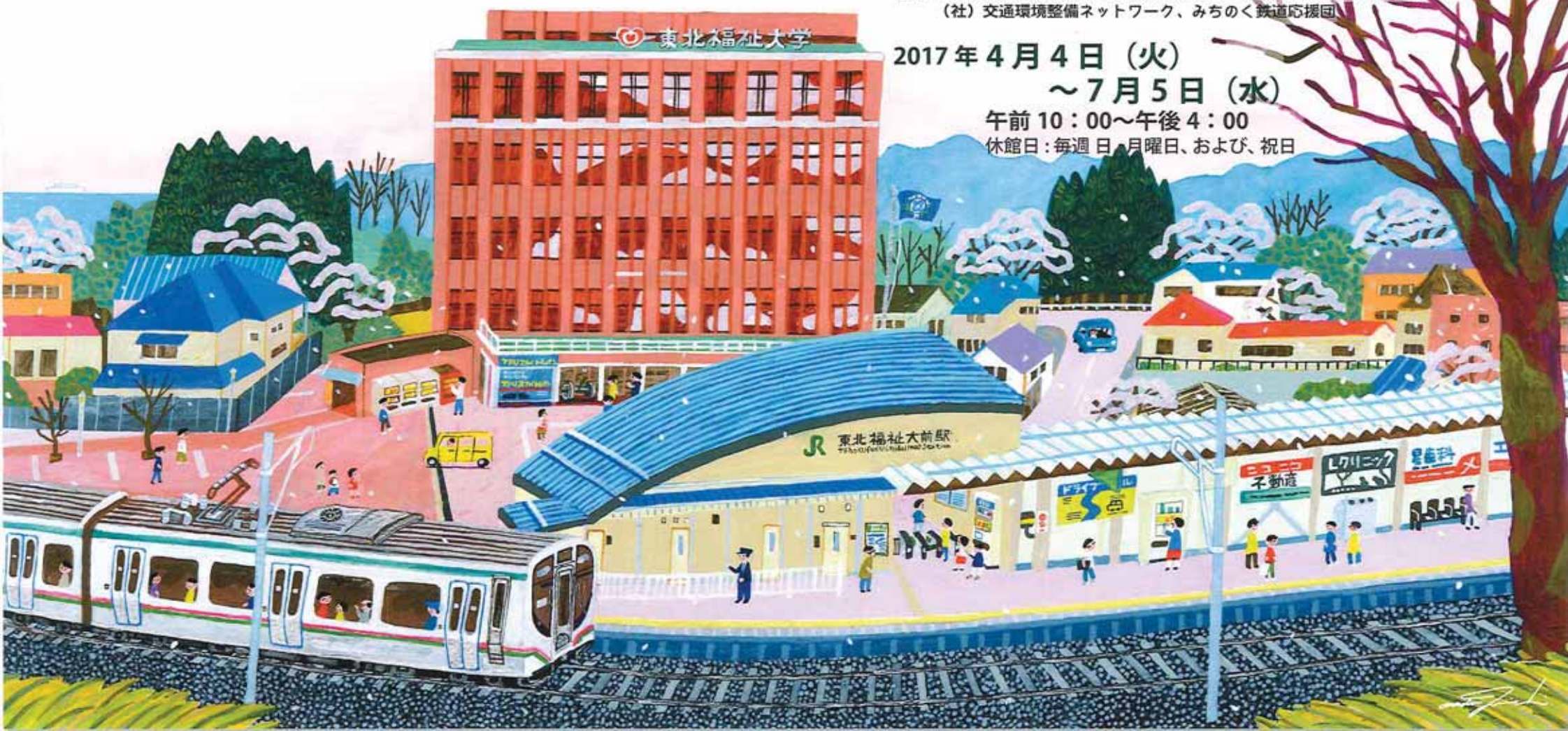
協力：JR 東日本仙台支社

後援：宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、河北新報社、東北鉄道協会
(社)交通環境整備ネットワーク、みちのく鉄道応援団

2017年4月4日(火)
～7月5日(水)

午前10:00～午後4:00

休館日：毎週日・月曜日、および、祝日



「東北福祉大前駅」展

2017年4月4日(火)～7月5日(水)

午前10:00～午後4:00

休館日: 毎週日・月曜日、および、祝日

※悪天候や大学行事等で臨時に休館する場合があります。
詳しくはホームページ等でお知らせします。

協力: JR東日本仙台支社

後援: 宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、河北新報社

東北鉄道協会、(社) 交通環境整備ネットワーク
みちのく鉄道応援団



貝ヶ森地区が宅地開発される前の東北福祉大前駅付近。撮影: 柏木瑛一 1956年2月



建設中の東北福祉大前駅。その脇を719系電車が通過しています。撮影: 渡邊裕太郎 2006年2月

この駅を作ることは、挑戦でした。

10年前の2007年3月、請願駅「JR仙山線・東北福祉大前」が開業しました。

山あいのきついS字カーブが続く急勾配の途中に駅を作るなんて! 下り坂に作られた駅の定位置に雪や枯葉などの悪条件下でも安全に電車を停めることはできるのか?…はじめ、ここに駅が欲しいという要望は、「無理!」「難しい!」と言われていました。しかし、それまでの鉄道技術では克服できなかったさまざまな難題を、多くの人々の情熱と知恵と技術の結集によってクリアし、新駅は誕生することができました。現在、その利用者数は、当初の予想を大きく上回り、学生のみならず地域の人々の生活に大いに貢献しています。

10周年記念のこの企画展では、ふだん利用している駅の誕生の歴史から、驚くべき鉄道技術の発展と、駅と地域の人々の関わりを探ります。



乗降するホームの位置からさらに長く突き出たプラットフォーム。そこには安全を確保するための理由がありました。
撮影: 2008年6月



2007年3月18日の新駅開業式典には、東北福祉大学OBで、メジャーリーグでも活躍した元プロ野球選手の佐々木主浩氏が一日駅長として駆けつけてくれました。

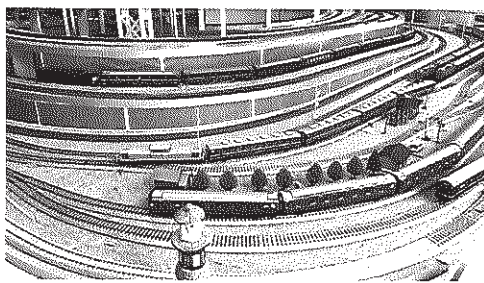
鉄道模型館 (TFUスカイトレイン)

展示室開館日の各土曜日

午前11:00～午後4:00

ただし、
6月・7月はメンテナンスのため休館。

*春のGWについては、
4月29日(土・祝)は休館、5月6日(土)は開館です。



主催・会場

東北福祉大学・鉄道交流ステーション

〒981-8523 仙台市青葉区国見1丁目19-1

ステーションキャンパス館3F

電話: 022-728-6612

<http://www.tfu.ac.jp/rmlc/index.html>

【アクセス】【JR】仙山線「東北福祉大前」駅下車(仙台駅から所要時間約13分、片道大人200円、小児100円)徒歩すぐ

【市営バス】「JR仙山駅前(西口バスプール15番のりば)」から「JR東北福祉大前駅」下車(所要時間約25分、片道大人260円、小児130円)徒歩すぐ。国見ヶ丘三丁目福祉大野球場前行き(870系統)、市営バス寒沢営業所前行き(X870系統ほか)乗車。10分から20分前後の運行間隔があります。

※9番出発の「東北福祉大前行」に乗車しますと、国見キャンパスへ行きますので、お間違えないようご注意ください。

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

入場無料

※悪天候や大学行事等で臨時に休館する場合があります。詳しくはホームページ等でお知らせします。

手前味噌で



イラスト: 小野寺純一